

土着カブリダニ類によるナシのハダニ類防除

福島県農業総合センター 果樹研究所病害虫科

1 部門名

果樹－ナシ－病害虫防除

2 担当者

川口悦史・吉田昂樹・荒川昭弘

3 要旨

福島県では、ナシの難防除害虫であるハダニ類の防除は殺ダニ剤に依存しており、薬剤抵抗性の出現が懸念される。そこで、クワオオハダニが優占するナシ園の下草にシロツメグサ及び樹幹下にアップルミントを導入し、土着カブリダニ類に比較的影響の少ない選択性殺虫剤を中心とした天敵保護防除体系による防除を実施した。その結果、多種の土着カブリダニ類の発生により殺ダニ剤を使用せずにクワオオハダニの密度が抑制された。

(1)天敵に影響の少ない選択性殺虫剤を中心とした防除体系を実施した(表1)。

(2)実証区では、慣行区に比べてクワオオハダニの密度が低かった(図1)。

(3)実証区のカブリダニ類は、ケナガカブリダニ、コウズケカブリダニ、ニセラーゴカブリダニ、フツウカブリダニ、ミヤコカブリダニの5種が確認された(図2)。

表1 2016年度殺虫剤防除実績

実施日	実証区	希釈倍数	実施日	慣行区	希釈倍数
			3月22日	ハーベストオイル(マシン油)	50倍
4月9日	ファイブスター顆粒水和剤(BT)	2,000倍	4月6日	ダースバンDF(クロルピリホス)	3,000倍
5月2日	バリアード顆粒水和剤(チアクロプリド)	4,000倍	5月5日	バリアード顆粒水和剤(チアクロプリド)	4,000倍
			5月17日	コルト顆粒水和剤(ピリフルキナゾン)	3,000倍
6月3日	ウララDF(フロニカミド)	4,000倍	6月1日	ウララDF(フロニカミド)	4,000倍
7月8日	ディアナWDG(スピネトラム)	5,000倍	6月11日	ウララDF(フロニカミド)	4,000倍
7月31日	アルバリン顆粒水溶剤(ジノテフラン)	2,000倍	6月16日	アブロードフロアブル(プロフェジン)	1,000倍
				コテツフロアブル(クロルフェニル)	2,000倍
8月19日	エクシレルSE(シアントラニプロール)	2,500倍	6月21日	スブラサイド水和剤(DMTP)	1,500倍
			7月2日	スブラサイド水和剤(DMTP)	1,500倍
			7月21日	ラービン水和剤75(チオジカルブ)	1,500倍
			7月27日	ダニサラバフロアブル(シフルメフェン)	2,000倍

注)赤字は殺ダニ剤

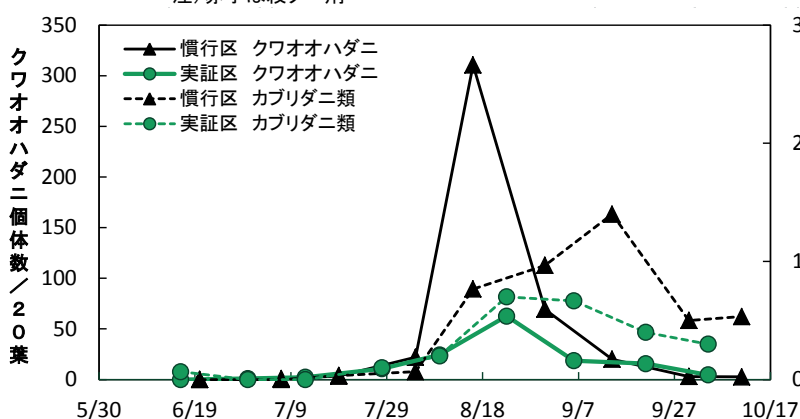


図1 ナシ葉のクワオオハダニ及びカブリダニ類の発生推移

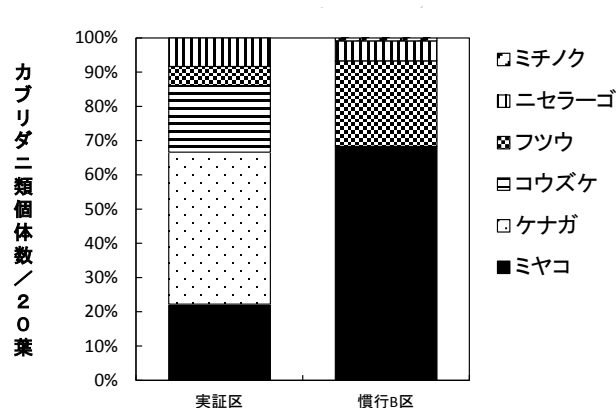


図2 カブリダニ類の種構成

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成 25 年度～29 年度
- (2) 研究課題名 ナシ産地の再生技術の実証研究
- (3) 参考となる成果の区分 (発展見込)

5 主な参考文献・資料

(活用した事業名: 農林水産省 食料生産地域再生のための先端技術展開事業)